

古河市立小中学校適正規模・適正配置等審議会 第3回会議 議事録

日 時	令和4年10月25日（火）午後2時から午後3時20分											
場 所	古河市役所 古河庁舎3階 全員協議会室											
出 席 者	会長 馬渡 剛 副会長 大里 充孝 委員 小嶋 洋平 委員 小泉 俊行 委員 青木 加代子 委員 小川 久雄 委員 大川原 公雄 委員 梅津 信男 委員 尾花 潔 委員 佐藤 隆之 委員 勝 文雄 委員 田神 昭											
欠 席 者	委員 青木 渉 委員 蛭田 裕 委員 岩渕 尚 委員 羽兼 邦夫 委員 竹村 靖											
事 務 局	教育部 副部長 島村 光昭 教育総務課 課長 大澤 勝彦 課長補佐 磯 典子 係長 内田 哲											
議 題	(1) 古河市立小中学校の適正規模について ～第2回会議でのグループ討議を踏まえた適正規模について～ (2) 古河市立小中学校の適正配置について ～通学距離及び通学時間の目安等について～											
議 事	(1) 古河市立小中学校の適正規模について ～第2回会議でのグループ討議を踏まえた適正規模について～ ・小中学校の適正規模については、下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="523 1258 1307 1424" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学級数</th> <th>1学級の児童・生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td rowspan="2">12～18</td> <td rowspan="2">26～35</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> </tr> </tbody> </table> 【主な意見】 特になし		学級数	1学級の児童・生徒数	小学校	12～18	26～35	中学校				
	学級数	1学級の児童・生徒数										
小学校	12～18	26～35										
中学校												
	(2) 古河市立小中学校の適正配置について ～通学距離及び通学時間の目安等について～ ・小中学校の通学距離及び通学時間の目安については、下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="491 1834 1342 2000" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>通学距離</th> <th>通学方法</th> <th>通学時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>2.5～4 km</td> <td>徒歩</td> <td rowspan="2">30～60 分</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6 km</td> <td>自転車</td> </tr> </tbody> </table>		通学距離	通学方法	通学時間	小学校	2.5～4 km	徒歩	30～60 分	中学校	6 km	自転車
	通学距離	通学方法	通学時間									
小学校	2.5～4 km	徒歩	30～60 分									
中学校	6 km	自転車										

	<p>【主な意見】</p> <p>上記の通学時間、通学距離は個人差や気象条件、道路条件などに左右される。そのため、平均的な児童・生徒の通学時間、通学距離として、あくまでも目安ととらえる。</p> <p>・「遠距離通学支援バスの活用」「学校と地域との関わり方」について協議。委員を3つのグループに分け、グループ内討議を行い、その内容を発表した。発表内容は下記のとおり。</p> <p>○グループA</p> <ul style="list-style-type: none">・長距離通学支援バスについて、公民館をバスの発着所などにするなどして積極的な活用をすることが望ましい。・学校の適正配置（統廃合）を進めるにあたり、学校と地域との関わりについて、コミュニティ20地区の地区割を変更する必要性があるのではないか。 <p>○グループB</p> <ul style="list-style-type: none">・長距離通学支援バスについて、小学生の学年による体力差を考慮すると必要になってくる。また、保護者などにアンケートを実施するなどして活用を推進してはどうだろうか。・学校と地域との関わりについて、今までのお祭りなどの継続性を考えると、20地区は変更しなくても良いのではないか。学区と地区割は別に考えた方がよい。 <p>○グループC</p> <ul style="list-style-type: none">・長距離通学支援バスについては、名崎小の運用が参考になる。・学校と地域との関わりについて、地区自体を分割することは難しいが、中学校区を基盤に考えると調整できるところもあるのではないか。
備 考	